

令和4年度 第2回学校運営協議会

令和4年12月9日（水）（授業見学・協議）

能勢分校会議室において、第2回の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会委員4名、学校側からは准校長、教頭、課長補佐、首席、各系列代表教諭が出席しました。今回の運営協議会では、授業見学の後、各系列の取組みの進捗状況や、授業アンケートについての説明、今後の本校の課題や方向性について議論しました。

内 容

1. 授業見学 13：10～15：00
2. 運営協議会 15：25～16：55
 - ① 准校長挨拶
 - ② 協議事項
 - ・ 授業見学について
 - ・ 系列の取組み
 - ・ GSの取組み
 - ・ 本校のスクール・ミッション（案）について
 - ・ 本校の課題「下宿制度、府・庁の取組み、今後の方向性、課題など」
 - ・ その他
 - ③ 連絡
 - 次回、第3回の開催 令和5年3月8日予定

委員からの意見等

【授業見学】

- ・ 体育は男女が一緒になって、和気あいあい体を動かしていた。見ているこちらも心が温かくなった。
- ・ 美術は授業に集中する時間と、そうでない時間の切替え（メリハリ）があり、良かった。
- ・ 音楽は曲が流れると、生徒が小さな口笛で反応していたのが良かった。

【協議】

- ・ 授業アンケートでは、3年生は前回とほぼ同じ、2年生は全体的に数値が下がっているが、より授業内容が専門的になっていることが原因かもしれない。1年生は学校平均より低いことが課題。生徒には予習復習などの声掛けをしている。教員でも共有し、授業力向上に努めている。

- ・今回のアンケート結果は高いレベルでの変化と捉えている。少人数の中での分析は難しい。長い目でその学年がどう変化するかを捉えていきたい。
- ・次年度より学校のめざすべき方向性を決める、スクール・ミッションを作るとのこと。素晴らしい取組みだと思う。期待している。
- ・対人支援コースの生徒には、地域をよくするまちづくりにも力を入れてほしい。人を大切にする発想を観光に生かしてはどうか。能勢分校の生徒からは、まちづくりに意志を感じる。能勢町の発展は生徒の学びにかかっている。
- ・生徒数が少ないのが大きな課題、特に地元からの生徒数が少ない。中学生に本校をPRする活動は行っている。高校存続のためには生徒が必要。そのためには本校を知ってもらうことが大切になってくる。
- ・コロナが収束したら、観光客が能勢に来てもらえるよう何かをしたらどうか。留学生を巻き込んで、母国語で能勢の紹介ページをHPに掲載したり観光マップを作成するのはどうか。